

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣住民の交流が乏しく、日々の散歩等で挨拶を交わす程度である。	近隣住民との交流が図れる。	事業所行事への参加案内や、事業所付近の清掃活動を行う。小学校との交流が図れるよう交渉していく。	12ヶ月
2	45	入浴拒否が強い利用者があり、スムーズな入浴支援が行えていない。	心地よい入浴提供が行え、清潔が保持できる。	家族協力を得ながら、入浴を行いたくなるように再アセスメントを行っていく。	12ヶ月
3	35	年2回の火災訓練は行っているが、消防署の協力を得て行えていない。	消防署の協力のもと火災訓練を行い、適切な対応方法を身につける。	消防署立会いの下、火災訓練を行う。	12ヶ月
4	10	家族の意見を運営に反映させるよう努めているが、職員と家族とのコミュニケーションが十分とは言えないので改善する必要がある。	職員と家族間のコミュニケーションがスムーズに図れ、事業所運営に家族の意見が反映できる。	面会時、家族から要望確認を行う。個人アルバムを作成し、家族と職員とのコミュニケーションが図りやすくし、ニーズを引き出す。	12ヶ月
5	20	馴染みの人や場との関係継続支援のために、利用者宅へ自宅確認や、友人の訪問等も支援しているが、面会の少ない利用者もいる。	馴染みの人や場との関係が継続できる。	面会の少ない家族への協力依頼を行っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。